

2014.2

jec プレス Junior Eco Club  
子どもエコクラブの情報紙



エコまるは  
(公財)日本環境協会の登録商標です。

2014年2月 編集/発行 子どもエコクラブ全国事務局(公益財団法人 日本環境協会)  
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16-9F TEL.03-5643-6251 FAX.03-5643-6250

全国から届いた、  
みんなの1年間の  
エコ活動を報告!

子どもエコクラブ  
2013-2014



写真は子どもエコクラブのホームページ内「みんなのエコジカルあくしょん」より抜粋。

# サポーターズ広場

## 子どもエコクラブ

春からの活動に向けて、スタートダッシュ!



### 継続届はお早めに!!

この1年間、子どもたちとともにどんな活動をしましたか? いろいろな活動の中で、子どもたちの好奇心をくすぐる発見や疑問、仲間と一緒に学ぶ楽しさなどが溢れ出てきたのではないのでしょうか。これからも子どもたちの「ワクワク」を見守っていきましょう。

- 継続届を全国事務局にて受理した日付から「賠償責任保険」が適用されます。4月からの活動を予定されているクラブは、早めにご提出ください。
- 活動報告をされたクラブには、活動を盛り上げる応援メッセージやアドバイスも引き続きお送りいたします。たくさんのクラブの継続をお待ちしています!

### FacebookやTwitterでも情報配信中!

子どもエコクラブはホームページのほか、FacebookやTwitterでも情報配信をしています。全国各地を旅するエコまるのコメントや、各地域のクラブから届いた楽しい活動報告などをほぼ毎日配信中! ぜひフォローしてくださいね☆

【Facebook】<https://www.facebook.com/kodomoecoclub>  
【Twitter】<https://mobile.twitter.com/>

「子どもエコクラブ」で検索してね!

※ Twitterは地域担当別になっています。



### 2014年度もイベントが盛りだくさん!

2014年度でなんと20年目を迎える子どもエコクラブ。恒例の「子どもエコクラブ全国フェスティバル」に加え、各地域で子どもたちの交流や発表の場も充実してきています。気軽にエントリーできるフォトコンテストやイベントなどに参加して、子どもたちの活動をさらに盛り上げましょう。

## 2014年度スケジュール

### 2014年

- 4月 新年度スタート!
- 5月 第1期「クラブ活動フォトコンテスト」募集スタート!(締切:7月末)
- 6月
- 7月 27日(日)「子どもエコクラブ交流会 in 東京」(東京都) [予定]
- 8月 9日(土)「子どもエコクラブ&ESDフォーラム」(愛知県)  
10日(日)「子どもエコクラブ&ESDフォーラム」(岡山県)  
17日(日)・18日(月)「子どもエコクラブ中国地方交流会」(鳥取県)  
第2期「クラブ活動フォトコンテスト」募集スタート!(締切:10月末)  
30日(土)子どもエコクラブ学習会「おもしろ体験してみ隊」(群馬県)

- 9月
- 10月
- 11月 「壁新聞&絵日記」募集スタート!(締切:2015年1月上旬)  
第3期「クラブ活動フォトコンテスト」募集スタート!(締切:2015年1月末)
- 12月 「エコプロダクツ2014」出展!

### 2015年

- 1月 1月中旬(土)「子どもエコクラブ交流会 in 群馬」(群馬県) [予定]
- 2月
- 3月 「子どもエコクラブ全国フェスティバル2015」開催!



わたしたちは子どもエコクラブを応援しています。

- アライアンス
- イトーキ
- エスケー石鹸
- エフピコ
- 関電工
- コカ・コーラウエスト
- 清水建設
- 総合ハウジングサービス
- 高杉製薬
- チェンジフィールド
- 東京国際フォーラム
- 東京建物
- 東京都民銀行
- 東芝
- 東洋ライス
- トヨタ自動車
- ナムコ
- ニコン
- 西日本ビル代行
- 西原衛生工業所
- 日本アロマ環境協会
- 文化シャッター
- ベネッセコーポレーション
- 三井化学
- 三井化学チビットワンコイン
- 三井住友海上火災保険
- 三井住友銀行
- 三井不動産
- 三菱地所
- 三菱電機
- 龍角散

後援:環境省

## メンバー募集!!

子どもエコクラブは、子どもたちが地域の中で自主的に行う環境活動・学習を支援する事業です。3歳から高校生までの子どもと、活動を支える大人が集まれば、年間いつでも登録可能、登録料・年会費は無料です! 子どもエコクラブで自由に環境活動を始めてみませんか?

# 子どもエコクラブのイベント

地方交流会をはじめ、さまざまなイベントをふり返り!

たのもーう! 今年も壁新聞道場がスタート!

みんなの壁新聞に、師範からアドバイザーがもらえる「壁新聞道場」。どの作品も力作ぞろい、厳しい師範たちも思わずニコリ、4月は、東京のクラブからスタートでした!



師範から一言  
どの壁新聞も、文字や色合いの見せ方がグッド!とても見やすかったです!

## 子どもエコクラブ 2013-2014 活動レポート

# みんなのエコ活動

日本全国のみんなの活動のようすを紹介!

### 4月

新年度スタート!

#### 笑顔で春の開校式

クラブ名 報徳学院  
所在地 神奈川県小田原市

2013年度の活動のスタートは、メンバー全員が開校式から。式の後には野菜やコスモス、コットンフラワーの種まき作業にチャレンジ。みんな真剣な顔つきで「大きく育ちますよーに!」と祈りました。



#### 火曜は町中をキレイに!

クラブ名 小野郷こころ  
所在地 北海道札幌市

毎月1回火曜日に、学区内のゴミ拾い活動をしている小野郷こころのみんな。近所のお友だち同士で朝の散歩ついでに始めましたが、参加人数が増えていき、今ではグループに分かれるほどに。グループで拾ったゴミの重さを競うなど、楽しく続けています。



### 6月

#### 環境月間

#### 新茶摘み・緑茶作りにチャレンジ!

クラブ名 水俣第一小学校子どもエコクラブ  
所在地 水俣市水俣町

暑い日差しもなんのその、みんなで元気いっしょに茶摘みに出かけました。その後は摘んだお茶の葉を乾かす作業をして、がんばる「こー!」時間もあり……。お茶をみんなで飲むときは新茶の香りが部屋中に広がり、みんなの疲れた顔もニコリになりました!



### 7月

第1期「クラブ活動フォトコンテスト」スタート!

#### ゴーヤカーテン作り

クラブ名 水俣第一小学校子どもエコクラブ  
所在地 水俣市水俣町

ゴーヤカーテンの夏の省エネ効果や、植え方の手順を教えてもらい、ゴーヤの植え付けにチャレンジ!自分で植えたゴーヤに「ゴーヤン」や「ゴーちゃん」など親しみやすい名前をつけて、それぞれ責任を持って世話することを宣言しました。



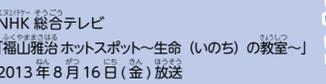
#### 夏の「節電」ビュッパの?

クラブ名 HJHJ楽みみみ  
所在地 東京都豊島区

本格的な夏を迎える前に、自分たちができる節電についてデイスカッション。エアコンの設定温度や冷蔵庫の開け閉めなど、節電について絵やイラストを使って考えました。また、家族やお友だちに向けて、節電のメッセージを「めたマイ」ちわ「を作成。これで夏の準備はバッチリです!



### NHK番組に、子どもエコクラブが出演!



NHK 総合テレビ  
「福山雅治 ホットスポット〜生命 (いのち) の教室〜」  
2013年8月16日(金)放送

NHK「福山雅治 ホットスポット〜生命 (いのち) の教室〜」に、子どもエコクラブのメンバー約100名が参加しました!世界中で撮影した生き物の映像や、実際に訪れた福山雅治さんの語る言葉に、子どもたちは興味しんしん。収録中、大人顔負けの質問や感想を次々と発言するメンバーに、福山さんや出演者の方々も感心していました。



### いきものみつけファーム in 松本



「いもも」収穫&いきもの観察に挑戦!トラップの荷台いっしょに収穫したトモロコシは甘みたっぷり絶品でした。次は、自分たちが田植えをした田んぼの生き物採集。この一日を通して農作物を育てる大変さや、生き物のつながりなどを学びました!



7/24

### 8月

### 子どもエコクラブ交流会 in 東京



清水建設さんの社屋で開催した「子どもエコクラブ交流会 in 東京」。関東の10クラブが集まり、日頃の活動報告やエコ工作を行いました。住む地域も学年も違っても、そこは同じ子どもエコクラブの仲間たち!和気あいあいの交流タイムとなりました!

8/25

### 大きなクスノキの中を大冒険!

クラブ名 エコまめ  
所在地 福岡県筑紫野市

ちびっこ人のエコまめのクラブは、福岡県が主催した「子どもエコクラブ交流会」に参加!大きな木がある神社で樹木医の先生と一緒に、木の役割を学びました。なんと、国の天然記念物にもなっている大きなクスノキの中を大冒険!はじめはドキドキしたけれど、とても楽しかったです。



### 地産地消 SLOW COOKER

クラブ名 MYASHIRO HOKU  
所在地 埼玉県宮代町

「地域のみんなと地産地消の輪を広げたい!」という思いから始めた「地産地消 SLOW COOKER」。メニューの作成やイベントの時間配分、参加者集めなどもできるだけ自分たちで行いました。今回のメニューは、みそ味の「焼きそば」をはじめ計5品。参加者はみんな初対面でしたが、仲よく料理に取り組み、大成功のイベントとなりました。



# 子どもエコクラブ全国フェスティバル2013のようす

昨年3月24日(日)、早稲田大学西早稲田キャンパス理工学術院(東京都新宿区)で行われた全国フェスティバルは、日本中のクラブから合計261枚の壁新聞と、273枚の絵日記が集まり、大盛り上がりで幕を閉じました。



▲元氣よく名刺交換!



▲エコまるを囲んで、全員集合!



▲どのクラブも工夫がいっぱいの発表でした!



▲環境省の副総務官(当時)も、みんなの活動のようすにびっくり!

## 全国の仲間が大集合! 子どもエコクラブ 全国フェスティバル2014

開催日時: 2014年3月23日(日) 10:00~16:15  
開催場所: 早稲田大学 西早稲田キャンパス理工学術院(東京都新宿区)

# 子どもエコクラブ 全国フェスティバル 2014

毎年3月には、全国のクラブが集まる「子どもエコクラブ全国フェスティバル」が開催! 都道府県の代表として参加するクラブが、お互いの活動を紹介し合ったり、企業のスペシャルブースを見学しながら楽しく交流します。今年はどうな全国フェスになるのかな? とっても楽しみですですね!

### 岩手と宮城でプロジェクトD開催!

岩手県と宮城県でプロジェクトDの「どんぐり拾い」を行いました。みんなのどんぐり拾いができ、みんなのどんぐりを集めることができました。被災地と全国の人が、どんぐりを通じてつながることで、東日本大震災で傷ついた森林や子どもたちを少しでも応援できたいと思います。

### いきものみつけファーム in 滋賀

命を育む田んぼ作りを学ぶプログラム「いきものみつけ寺子屋」が、滋賀県の日野町で開かれました。稲を育てる体験を通して、生き物の大切さやお米を育てることのむずかしさ、やりがいを実感しました。

### 子どもエコクラブ 交流会 in 愛知

日頃の活動の発表や体験プログラムを通して、近畿・中部地方のクラブが交流。たくさんエコ活動の仲間がいることを実感しました。

## 3月

## 2月

## 1月

## 12月

## 11月

## 10月

## 9月

**優秀賞**

▲クラブ名 まきはら水辺の楽校(静岡県)  
▲タイトル 川の生物観察と蜂の抜殻調査

**優秀賞**

▲クラブ名 上条小子どもエコクラブ(愛知県)  
▲タイトル 庄内川自然観察会・クリーン作戦

**ニコン賞**

▲クラブ名 迎川子どもエコクラブ(茨城県)  
▲タイトル 参加者120人 千波湖周辺の昆虫観察を行いました!

**第1回  
子どもエコクラブ賞**

▲クラブ名 かなちよるエコクラブ(東京都)  
▲タイトル 庭探検

**優秀賞**

▲クラブ名 こぼとエコクラブ(長崎県)  
▲タイトル 佐世保市美し秋収穫

**優秀賞**

▲クラブ名 学校法人さつき学園認定 子ども園さつき幼稚園(青森県)  
▲タイトル 廃材で作成作り

**ニコン賞**

▲クラブ名 エコスマイル(兵庫県)  
▲タイトル リンゴ狩りに出かけよう

**子どもエコクラブ賞**

▲クラブ名 永田川カエル倶楽部(広島県)  
▲タイトル 永田川の清掃活動、水質調査と昨年放流したドジョウの生息確認

## クラブ活動 フォトコンテスト 入賞作品発表!

**優秀賞**

▲クラブ名 こぼとエコクラブ(長崎県)  
▲タイトル 佐世保市美し秋収穫

**優秀賞**

▲クラブ名 学校法人さつき学園認定 子ども園さつき幼稚園(青森県)  
▲タイトル 廃材で作成作り

**ニコン賞**

▲クラブ名 エコスマイル(兵庫県)  
▲タイトル リンゴ狩りに出かけよう

**子どもエコクラブ賞**

▲クラブ名 永田川カエル倶楽部(広島県)  
▲タイトル 永田川の清掃活動、水質調査と昨年放流したドジョウの生息確認

**優秀賞**

▲クラブ名 ボコスカウォーズ北九州(福岡県)  
▲タイトル 海とふれあいプロジェクト 海岸周辺清掃

**ニコン賞**

▲クラブ名 エコスマイル(兵庫県)  
▲タイトル リンゴ狩りに出かけよう

**子どもエコクラブ賞**

▲クラブ名 永田川カエル倶楽部(広島県)  
▲タイトル 永田川の清掃活動、水質調査と昨年放流したドジョウの生息確認

**どんぐり拾い**

近所の飛鳥山公園にどんぐり拾いに出かけ、スタジイのどんぐりをたくさん拾いました。スタジイのどんぐりはそのままでも食べられるそうなので味見をしてみました。少し粉っぽくて味がしませんでした(笑)。今度はフライパンでじっくり炒らしてみたいと思います。

**どんぐり拾い**

クラブ名 ときぎわむかへんクラブ  
所在地 東京都文京区

**壁新聞作りに  
チャレンジ**

11月の近畿「子どもの水辺」交流会に向けて、この半年間で自分たちが参加した水辺の活動をふり返りながら、壁新聞作りに取りかかりました。活動の内容や、そのときの気持ちなども思い出すことができました。楽しかったです。

クラブ名 西京極児童館自然探検隊2004  
所在地 京都府京都市

**五感を使った  
自然観察ハイキング**

自然観察指導員の方と一緒に自然観察ハイキングに行きました。センブリのおいさをかいで食べてみたり、鳥の声に耳をすませてみたり、キノコをたいて胸子を飛ばしてみたりと、五感をいっぱい使って自然を感じることができました。

クラブ名 沢上  
所在地 愛知県名古屋

**散歩を楽しみながらゴミ拾い!**

秋の自然を楽しもうと、近所の高台まで散歩に出かけたクラブのみんな。おいしい空気を胸いっぱい吸い込みながら歩いていると、「さくらんぼ」が落ちてくるのを発見。メンバーたちが自然や「ゴミ」があるから、みんなが拾おうという声が上がると、いつの間にか「ゴミ拾いウォーキング」に。きれいな森や自然を多くの人にも守ってほしいと思います。

クラブ名 まつほろエコクラブ  
所在地 鳥取県鳥取市

**五感を使った  
自然観察ハイキング**

自然観察指導員の方と一緒に自然観察ハイキングに行きました。センブリのおいさをかいで食べてみたり、鳥の声に耳をすませてみたり、キノコをたいて胸子を飛ばしてみたりと、五感をいっぱい使って自然を感じることができました。

クラブ名 沢上  
所在地 愛知県名古屋

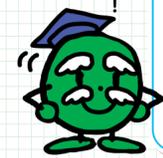
# 教えて！ エコ博士

やあ、みんなはじめましてじやのう。  
わしは「エコ博士」。  
みんなのちよつとした疑問に  
お答えするぞよ。



## 今回のギモン

最近よく「ESD」ってサポーターが言っているんですけどなんですか？  
by パルメ



むずかしい言葉を知っているのー！  
では、順番に説明するぞよ。

いま、人類は大ピンチじやー！

人類はいま、たくさんの問題を抱えているんじや。  
地球温暖化やエネルギーといった環境問題、戦争や生活レベルの差をはじめとする経済的な問題など、ほかにもいろいろあるんじや。  
だからこそ、未来の人々がずっと暮らしているよう、わしら一人ひとりが自然や生き物、エネルギーなどを大切にしなければいけないのじやよ。

これがESDじやー！

生き物を観察したり、節電したり、ゴミを分別したり…みんながふだん行っているエコ活動は、巡り巡って地球のために役立ち、それがわしら人類のためにしているんじやぞ。  
こうしたわしらの未来につながる学びや活動のことをESDと言うのじや。  
今、世界中で、このESDがさかんに行われているのじやぞ。



# 地球に優しい仕事図鑑

## 樹木医／塚本こなみさん

木の命を守り、木がすくすくと育つよう手助けするのが樹木医のお仕事。塚本さんは女性初(国内)の樹木医で、浜松フラワーパークの理事長、足利フラワーパークの園長もされています。



## 木も人も「根」が大事

根気、根本、根性…など、わたしたちにとって大切なものには「根」という字が使われています。木で一番大切なのも根です。木の元気の源は根が健康であること。見えない根を大切に育て、根をしっかりと張れるようにサポーターしてあげるのが、樹木医の重要な仕事です。  
人間も心の根にストレスを抱えてしまうと病気になるってしまふことがあります。木も同じで、根が健康でないと、水や栄養分を吸えなくなり、葉が全部落ちてしまふ。木を生かす続けるためには、大地に健康な根を張らせ続けることが大切なんです。

## 人間は自然とともに生きている

緑が多い場所で深呼吸をして、心地よい気分になったことはありませんか？それは、木が二酸化炭素を吸って空気をきれいにする、地球の空気清浄機役割を果たしているからです。ふだん、「花や緑にいやされたい」とわたしたちが本能的に思うのは、わたしたち人間も自然の一員だから。それを忘れてはいけないということ、樹木医の仕事をしていると気づかれます。

## 木とお話しをしてみよう

樹木医は男性が多い仕事ですが、見ることもとても向いています。木のよさをずっと見ていれば、「ああ、この木は苦しんでいる」「この木は元気だな」とわかるようになります。木と通じ合えるようになります。ぜひみなさんも木とお話しをしてみてください。学校や公園で自分のお気に入りの木の木を作ってみよう。毎日会いに行ったり、悩みを聞いてもらううちに、木とお友達になれますよ。

# わたしたち人類が抱えている問題

### 食糧問題

国や地域によって、人口に対して食べ物が足りていたり、逆にぜんぜん足りていなかったり、バランスがくずれています。  
**ESD** 世界中の人々に、十分な食べ物を届ける！

### 文化問題

自然災害や戦争など人間が引き起こした災害のせいで、貴重な建物やその周りの自然、生き物が危険にさらされています。  
**ESD** 次の世代へ大切な文化や自然を残す！

### 気候変動

地球温暖化による異常気象の発生などの影響で、地球の気候のバランスが崩れ始めています。  
**ESD** 気候変動に合わせて原因を解決する！

### 生物多様性

森林破壊や地球温暖化などにより、1年間で全世界の生き物のうち約4万種が絶滅していると考えられています。  
**ESD** 地球上に住む生き物を絶滅から守る！

### エネルギー問題

世界には電力を利用できない人が約13億人、電気やガスなどを使って調理ができない人は約26億人にのぼります。  
**ESD** みんなが必要な分のエネルギーを安全に確保！

### 貧困問題

国際的に決められている生活レベルで暮らす人々は約14億人にのぼります(2005年)。  
**ESD** 世界中の生活レベルの差をなくす！

### 国際理解

世界にはいろいろな民族、宗教、文化、考え方があり、それを認められない人々が争いや差別を引き起こしてしまっています。  
**ESD** いろいろな国の文化や違いを理解して受け入れる！

### 防災問題

1992年から2010年の間に、台風などの自然災害の発生がすくぞく増えています。  
**ESD** いろいろな自然災害に備える！

### 人権・平和

世界中で約4,200万人の子どもが、争いや差別によって住む場所を変えなければならない状態になっています。  
**ESD** 戦争や差別をやめて、みんな仲よし！

わたしたち人類が抱える  
いろいろな問題を解決して  
持続可能な社会の実現を目指す！

## 今年の秋、日本で世界のESD会議が開かれるぞよ！

**ESDユネスコ世界会議**  
開催期間：2014年11月10日(月)～13日(木)  
会場：名古屋国際会議場(愛知県)  
主催：国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)、日本政府

**ユネスコスクール世界大会**  
開催期間：2014年11月6日(木)～8日(土)  
高校生フォーラム、教員フォーラム  
ユネスコスクール全国大会  
会場：ホテルグランヴィア岡山(岡山市) 会場：岡山大学(岡山市)  
主催：国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)、文部科学省、日本ユネスコ国内委員会

1 ムダな電気は消して…  
ちょっとの暑さなりウチワで十分！

2 でもわたしがやっていると、何かに役に立っているのかな…?

3 小さい家電、パソコンが地球のために！  
石油や石炭を燃やす量が減る  
CO2の出る量が減る  
地球温暖化を防ぐ

4 こうやって世界とのつながりを考えることは立派なESDなんだ！  
一北極一  
今年はずいぶん涼しいねえ。

## いろんなシーンで活躍している、こどもエコクラブの先輩をご紹介します

# 先輩 なう！



江口 健介さん

## 環境に関わる仕事をしているのは、こどもエコクラブがきっかけかなあ。

通っていた中学校がこどもエコクラブに登録していたので、気づかないうちにいろいろな環境活動をしていました。そのせいか、高校卒業後は自然と農学系の大学に進みました。大学の外では若者中心の環境団体に入り、ボランティア活動に熱中。中でも、2010年に「生物多様性の国際会議」に参加し、いろんな国の若い年くらいの人たちと一緒に活動できたことは、貴重な体験です。  
大学卒業後は造園会社で庭師として働いていましたが、もっと環境問題の解決に貢献できる仕事したいと思い、人と人をつなげて環境問題の解決を目指す仕事に就きました。ふと振り返ると、わたしがこうして環境に関わっているのは、こどもエコクラブがきっかけってことですね。小さい頃から環境意識を持っておくことはとっても大切。一生懸命楽しみながら、エコ活動を続けてください！ほくもみんなをサポートしていきよ！

# なるほど！エコな豆知識をお届け！ エコトリビア

## テーマ 江戸時代のリサイクル

ものを上手に使う江戸時代

江戸時代は今の日本のように「もの」があふれていなかった。いろいろな資源が大切に利用されていた。お米もそのひとつ。稲作で暮らしていた当時の人たちは、お米を作るときにたくさん出る「わら」は貴重なものでした。人々の「み」のわらを使ったり、「み」の衣類、畳やお米を入れる米俵などを作っていました。そしてこれらが古くなったら、肥料や燃料として再び利用。お米を作る稲作は、それによって「衣・食・住」いろいろな面で役に立てられていたのです。

お米を食った後も、しっかりと「うんち」は糞をたたくて、畑にまかれ、再びお米へリサイクルされていきます。大地に返っていくのです。「このように、ものがぐるぐる回って成り立つ社会を循環型社会」といいます。江戸時代はまさに、ものが循環するエコ社会でした。便利な社会だから、今だからこそ「うんち」の再利用が大切なんです。



▲稲作をしている江戸時代の人々。(北斎漫画)より